

第15回「動物考古学研究集会」 口頭発表プログラム 〈会場:平城宮跡資料館 講堂〉

日時	発表者	題目
11月26日(土)		
12:00		【受付開始】
13:00		【開会挨拶】
〔1日目 第1部〕		
13:10~14:10	松井 章	《特別講演》 「歴史時代の動物考古学」
14:10~14:20		【休憩】
〔1日目 第2部〕		
14:20~14:45	○西本豊弘・ハ インスク・キム ホンソク・ 新美倫子・上奈穂美	韓国釜山市東三洞貝塚の生業活動
14:45~15:10	宮崎泰史	韓国のイヌについて—勒島遺跡を中心に—
15:10~15:35	○安部みき子・宮崎泰史・丸山真史	韓国国立慶州博物館敷地内における統一新羅時代の井戸から出土した動物遺存体
15:35~15:45		【休憩】
〔1日目 第3部〕		
15:45~16:10	池田研	大坂城下町跡出土の貝類研究の現状と課題
16:10~16:35	丸山真史	神戸市兵庫津遺跡にみる近世の水産物利用
16:35~17:00	○建石徹・津村宏臣・大内千年・小林謙一	東京湾を渡った縄文人—土器胎土分析と空間情報解析の融合—
17:00~17:10		【休憩】
〔1日目 第4部〕		
17:10~18:00	《議事》 ・動物考古学第30号の刊行について ・今後の動物考古学研究集会の運営について	
18:30~		【懇親会】〈会場:平城宮跡資料館 講堂〉
11月27日(日)		
9:00		【開場】
〔2日目 第1部〕		
9:30~9:55	○植月学・津村宏臣	臼歯の輪郭形状解析による馬の系統分類の試み
9:55~10:20	○覚張隆史・山崎京美・樋泉岳二・藤田祐樹 ・山崎真治・久貝弥嗣・宮城弘樹・片桐千亜紀 ・米田穰	琉球列島出土イノシシ類の骨コラーゲン 窒素同位体比に関する考察
10:20~10:45	○黒住耐二・樋泉岳二・赤嶺信也・盛口満	沖縄諸島の先史遺跡で初めて確認されたオオツタノハの生息
10:45~10:55		【休憩】
〔2日目 第2部〕		
10:55~11:20	○小野林太郎・印東道子	ミクロネシア・ファイス島におけるサメ・サバ科資源の利用と時間的变化
11:20~11:45	野林厚志	民族誌事例から見たブタの放牧飼育の条件と物質的記録の可能性
11:45~12:10	陳傑	動物考古学からみた上海考古の新発見—広富林・福泉山遺跡の調査—
〔2日目 第3部〕		
12:10~13:00		【休憩】
13:00~13:40		【ポスターセッション】
13:40~13:45		【休憩】
〔2日目 第4部〕		
13:45~14:10	山崎健	奈良県橿原遺跡から出土した骨角器のライフ・ヒストリー研究
14:10~14:35	○河合章行・井上貴央	青谷上寺地遺跡における骨角器製作技術と素材
14:35~15:00	○江田真毅・井上貴央	東大阪市・宮ノ下遺跡出土の鳥類遺体について

※○印は発表者です。

第15回「動物考古学研究集会」ポスター発表プログラム〈会場：平城宮跡資料館 講堂〉

【ポスターセッション日時】 11月27日(日) 13:00～13:40

発表者	題目
○新美倫子・乾茂年・門脇誠二・蜂須賀敦子・大谷茂之・藤井勝規・野々山禎久	北海道浜頓別町日の出貝塚(縄文前期)の調査
西本豊弘・喜多裕明・○上奈穂美	千葉県印西市馬場遺跡のイタチとオオヤマネコ
○キム ホンソク・西本豊弘・西澤明	東京都西ヶ原貝塚のイノシシの同位体分析
○宇佐美智之・樋泉岳二・植月学・津村宏臣	貝塚属性傾向の時空間変遷に関する分析手法の研究 —東京湾沿岸貝塚を例に—
小舟みなみ	近世江戸遺跡出土のイヌについて
井上貴央・江田真毅・河合章行	青谷上寺地遺跡内における主要動物の時空分布について
樋泉岳二	脊椎動物遺体からみた先史・原史琉球の動物資源利用(仮)
内田昌宏	鯨歯・鯨ヒゲの有効利用について②—クジラ工芸細工の現状—
西本豊弘・ハ インスク・○キム ホンソク・新美倫子・上奈穂美	韓国釜山市東三洞貝塚の大型クジラ類
西本豊弘・ハ インスク・新美倫子・○上奈穂美・キム ホンソク	韓国釜山市東三洞貝塚のトラとヒョウ
宮本一夫・高大倫・唐飛・陳偉東・○菊地大樹	吐蕃の動物犠牲

※○印は発表者です。